



やさシティ、まつど。
matsudo

松戸市報道資料
令和3年8月10日

今年で38回目！ まつどの梨100箱寄附について

松戸市観光梨園組合連合会及び松戸市梨研究会の加盟園のご厚意により今年もまつどの美味しい梨が松戸市に100箱寄附されます。

昭和58年に第1回目を実施され、今回で38回目となります。

寄附された100箱の梨は、市内の福祉施設89箇所の皆様に分けられ旬の味を堪能していただきます。

寄附される梨はこの時期旬の幸水及び豊水で、大変人気の高い品種です。木で完熟したおいしい梨を召し上がって頂きたいと思います。

●寄附セレモニー

日時 令和3年8月19日（木）8時45分～9時30分

場所 市役所新館5階市民サロン

（贈呈式・市長挨拶・両会長挨拶・写真撮影等）

寄附内容 幸水および豊水梨5kg入り100箱

寄附者 松戸市観光梨園組合連合会 会長 高橋 治（たかはし おさむ）様
松戸市梨研究会 会長 渡来 一弘（わたらい かずひろ）様

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市経済振興部文化観光国際課 ☎047-366-7327

FAX 047-711-6387 ✉mckankou@city.matsudo.chiba.jp

令和3年8月10日

松戸市観光梨園組合連合会について

○発足について

昭和38年、二十世紀梨の原産地であり、最適の沃地で味覚日本一と言われる高塚、五香六実地区の二十世紀梨を中心とする梨畑は40ヘクタールあり、この名産品をレジャーブームに結び付け増産を図りたいとの地元からの要望にあわせ、生産者と商工課・農政課で話し合いを重ね、梨もぎ取り園の視察を行い、観光梨園の造成を計画し、観光梨園組合が発足しました。

初代会長には当時の農業委員長を務めていた野口源治氏が就任し、2代目に齋藤清氏、3代目に渡来治兵衛氏、4代目に真嶋誠一氏、5代目に真嶋昇氏、6代目に渡来和治氏で、7代目に現会長の高橋治氏が平成27年6月に就任しました。

○会員数について

令和3年8月現在で松戸市観光梨園組合連合会の会員数は47園あります。地区は大きく分けて以下の3地区となっております。

- ・高塚地区 32園、
- ・五香・金ヶ作地区 8園、
- ・六実地区 7園

○梨100箱寄付

昭和58年に設立20周年を記念して、松戸市に感謝の意をこめ100箱の寄付を行いました。

現在も、毎年8月末に寄贈し、市内の老人ホームや各施設に分けられ、入所者から毎年感謝の言葉が寄せられています。

今年の開催で38回目となります。

梨の寄附に伴う式典次第

日 時：令和3年8月19日（木）午前8時45分～9時30分

場 所：市役所新館5階 市民サロン

司会：高齢者支援課

- 1 出席者紹介
- 2 梨の寄附(箱の贈呈)
- 3 記念撮影
- 4 松戸市観光梨園組合連合会会長挨拶
- 5 松戸市梨研究会会長挨拶
- 6 市長挨拶
- 7 歓談

式典出席者名簿（予定）

松戸市観光梨園組合連合会

会長 たかはし おさむ 高橋 治 様

松戸市梨研究会

会長 わたらい かずひろ 渡来 一弘 様

松戸市

市 長
福祉長寿部長
高齢者支援課長
子ども部長
経済振興部長
文化観光国際課長